

はじめに4 多治見市の浸水対策

【計画名称】 多治見市平和町、池田町、前畑町、田代町等浸水対策実行計画

【岐阜県多治見市】

流域の概要

土岐川下流域では、過去から多くの浸水被害に見舞われ、平成23年9月台風15号豪雨災害でも、床上439戸、床下183戸（多治見市全域）の浸水被害が発生。

- 近年の局地的ゲリラ豪雨の顕著化、甚大な水害の多発
- 多治見市における浸水被害の発生回数は、

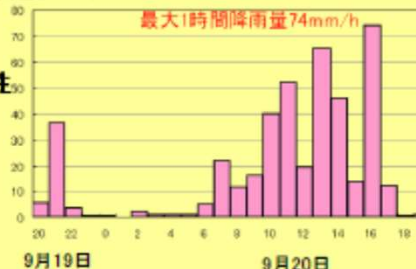
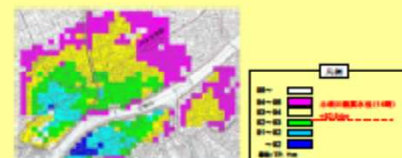
- ・過去（S54～H25）の35年間で10回の浸水被害が発生
- ・特に近年のH12年9月恵南豪雨、H23年9月台風15号豪雨は床上浸水被害が約10年間に2回も発生した。

- ・地目別土地面積 森林 4,535ha(S57)→4,446ha(H22) 約2%減少
宅地 1,074ha(S57)→1,767ha(H22) 約1.65倍
- ・下水道整備率（雨水：1/7 計画50mm）：現況59.7%
- ・河川整備率（1/20 計画71mm）：現況6.3%



【浸水被害の主な要因】(H23.9台風15号豪雨) 降雨量(mm/h)

- 非常に激しい雨が数時間にわたって発生
- 地形的要因により雨水が集中しやすい地域特性



多治見市平和町、池田町、前畑町、田代町等雨水排水対策協議会（H23.12.12～）

組織	部局
国関係	庄内川河川事務所、多治見砂防国道事務所、岐阜地方気象台
県関係	河川課、下水道課、多治見土木事務所
市関係	企画部、都市計画部、建設部、水道部
地元住民	多治見市11区、12区、26区
学識経験者	名古屋工業大学教授、岐阜大学教授

取組内容 <計画期間：平成25年度～平成29年度>

- 河川整備 川幅を広くする、川底を掘り上げる、堤防を高くする等の河川改修を行い雨水を安全に流せるようにします
 - 排水対策 ポンプ場の新設や増強、排水路の整備を行いすみやかに雨水を河川に排水します
 - 流出抑制 調整池の新設や、既設調整池の改修を行い雨水の流出量を抑制します
 - 浸水被害軽減対策 水害意識の啓発や避難対策等を行い浸水被害の軽減に努めます
- ※対策全体で47施策65対策を実施予定

対策効果

平成23年台風15号豪雨相当の降雨に対し床上浸水を概ね解消する。



令和6年度 下水道事業決算のポイント

1

収益的収支(税抜)

=約31.0億円の収益に対し、約29.8億円の費用

⇒収益が費用を上回り、純利益は約1.2億円

2

資本的収支(税込)

=約6.8億円の収入に対し、約18.0億円の支出

⇒支出額に不足する額は約11.2億円

※翌年度繰越工事の財源は除く。

3

下水道施設の改良に約7.2億円(税込)かかり、

約4.8億円の企業債を借入

令和6年度 下水道事業 概況

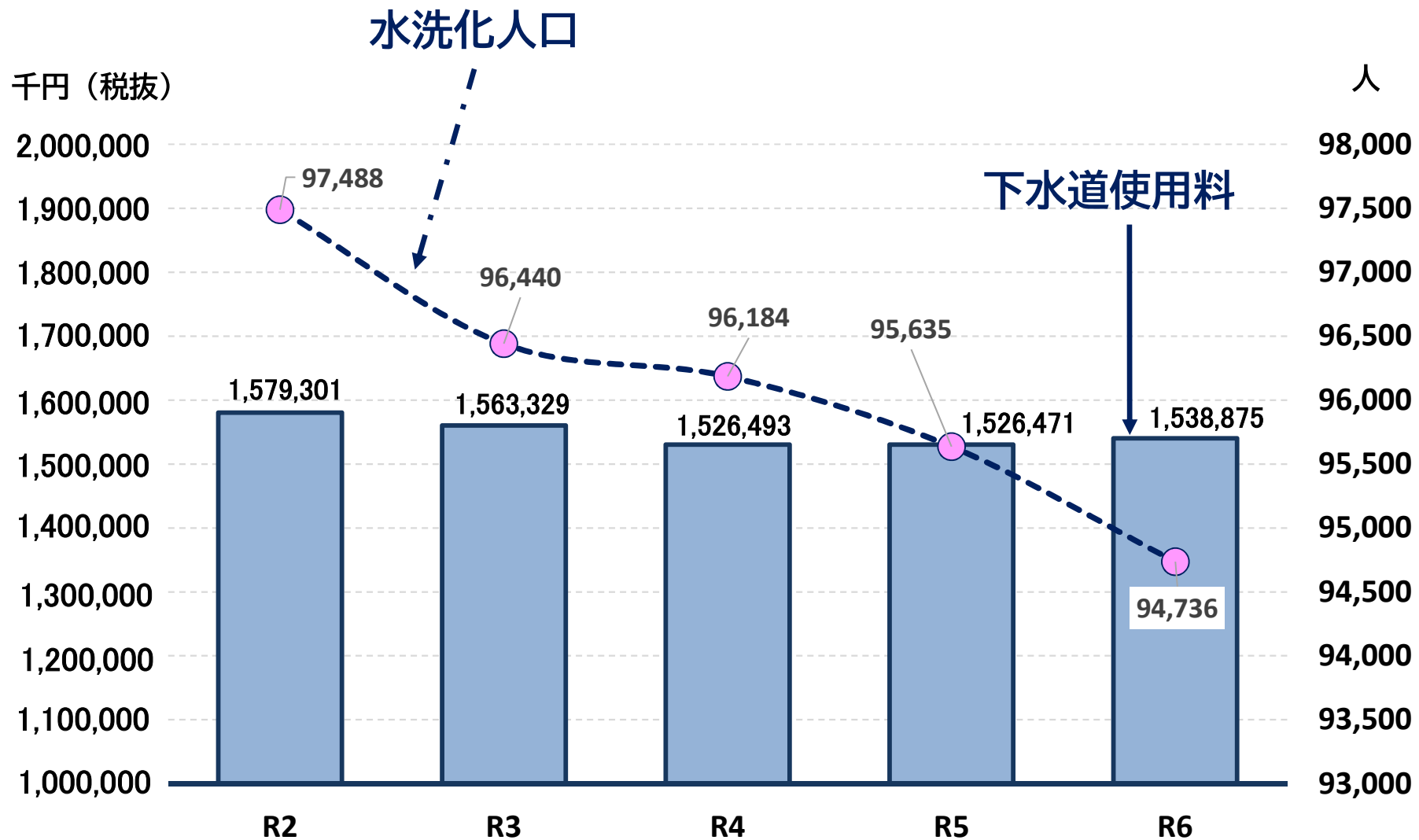
項目	R6	R5	増減	解説
水洗化人口	94,736人	95,635人	▲899人	下水道整備区域内で、下水道に接続して水洗トイレを使用している人口
水洗化世帯	43,394戸	43,130戸	264戸	下水道整備区域内で、実際に下水道に接続して水洗トイレを使用している世帯数
年間汚水 処理水量	21,133,830m ³	20,337,632m ³	796,198m ³	1年間に下水道施設で処理された汚水の総量
年間有収水量	10,167,781m ³	10,130,835m ³	36,946m ³	下水道事業が下水道使用料として収入を得る対象となる汚水量の総量
有収率	48.11%	49.81%	▲1.70%	下水処理場に流れ込む汚水量のうち、使用料の徴収対象となる有収水量の割合（数値が高いほど不明水が少ない）

<主な実施事業>

- ・老朽管布設替工事（市内一円）
- ・マンホール蓋更新工事
- ・土岐川右岸ポンプ場改良工事



下水道使用料収入・水洗化人口の推移

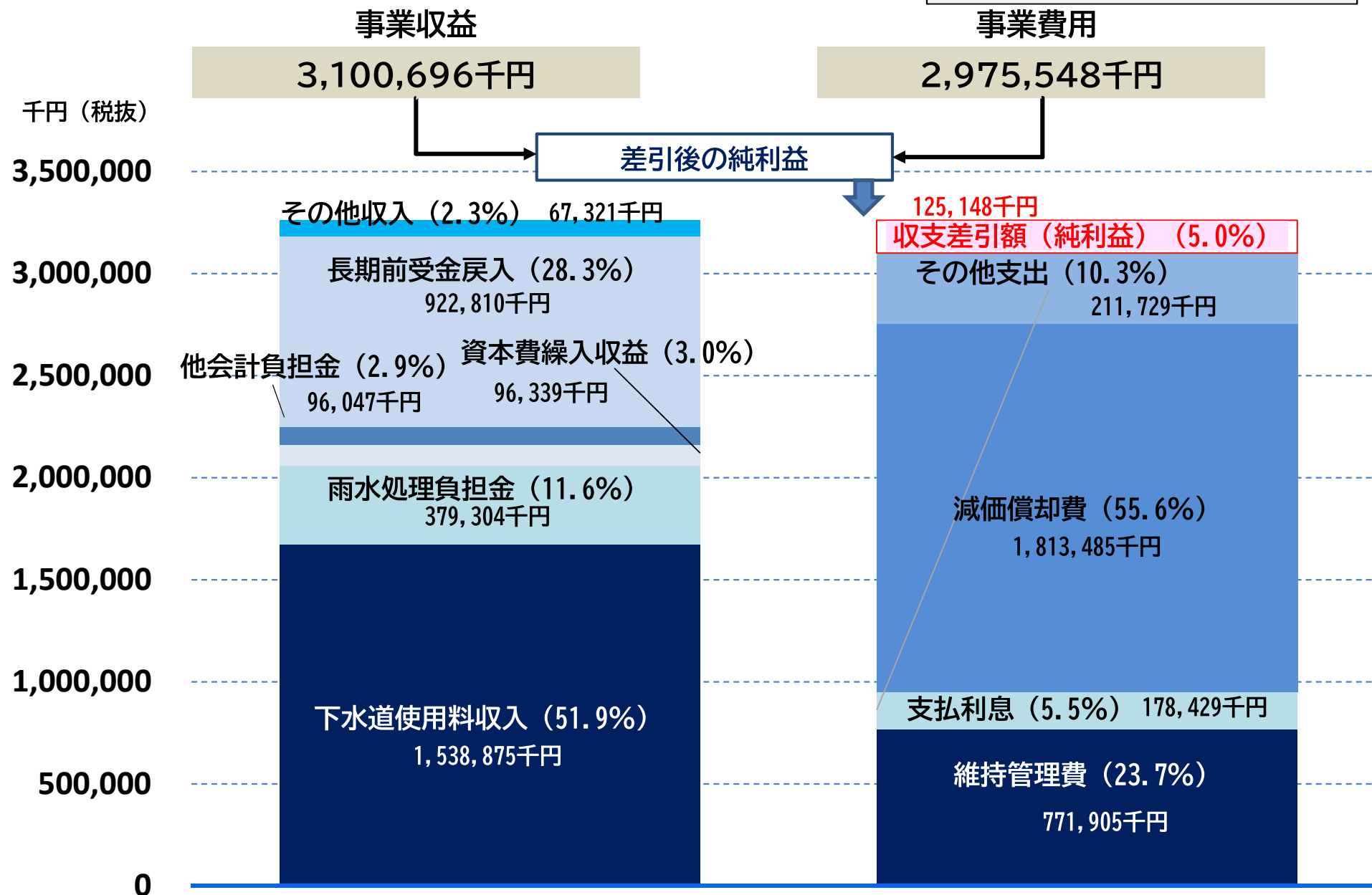


水洗化人口の減少に伴い、下水道使用料もやや減収傾向

収益的収支の状況（3条予算）

3条予算

事業活動で発生する収益と費用の合計
(現金の収支を伴わないものを含まず)



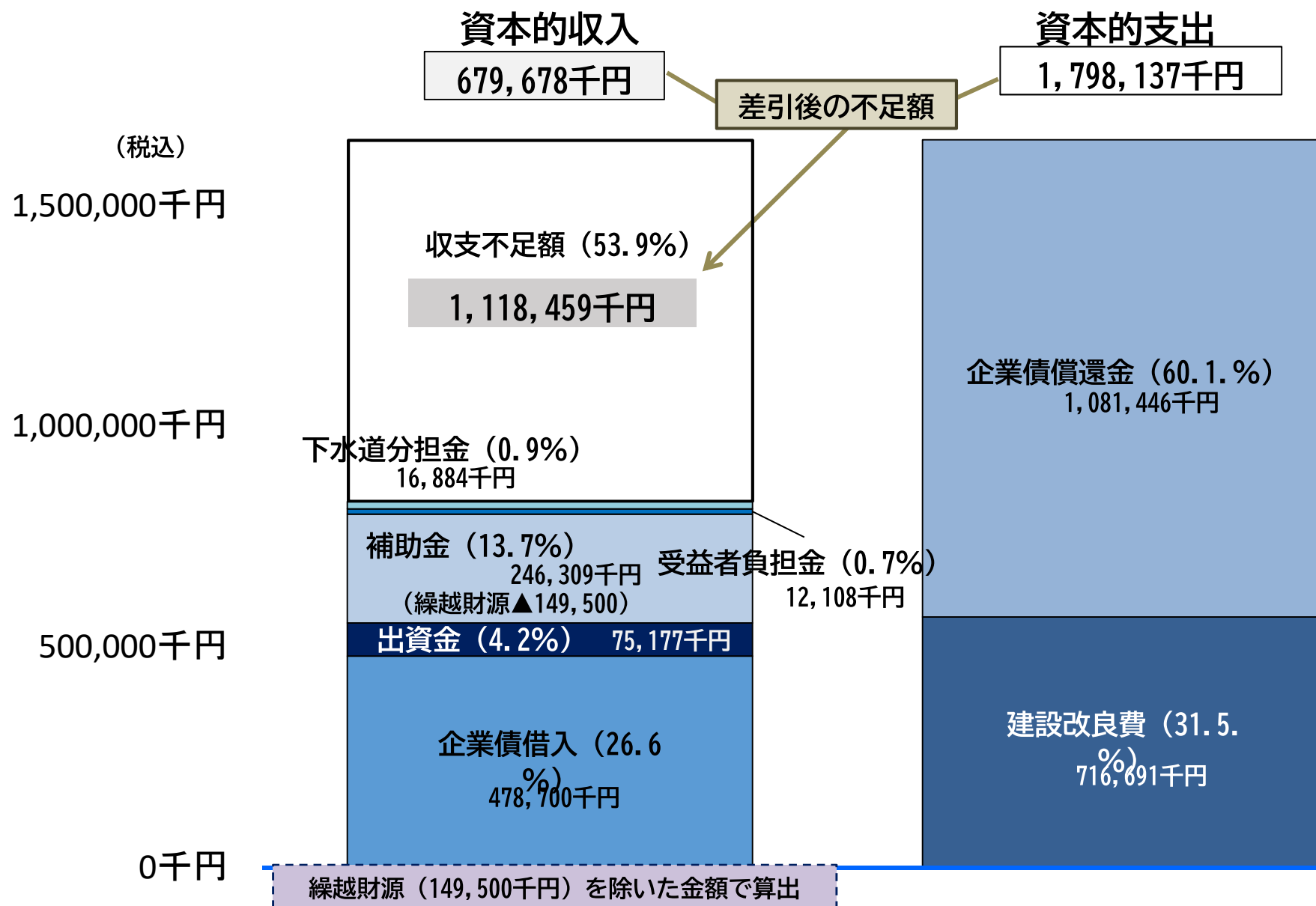
用語解説

1. 下水道使用料収入	下水道の維持管理等の経費に充てるため、使用者から徴収する使用料
2. 雨水処理負担金	一般会計繰入金のうち雨水処理経費に充てるための負担金
3. 資本費繰入収益	元金償還金に対する一般会計からの繰入金
4. 他会計負担金	一般会計からの繰入金
5. 長期前受金戻入	固定資産の取得価額を減価償却費で毎年費用化する一方で、取得財源に充てた外部資金(補助金等)の減価償却費相当額を収益化する科目
6. 維持管理費	下水道事業を継続するために必要な経費(人件費、動力費、薬品費等)
7. 支払利息	企業債の借入に伴い支払う利息
8. 減価償却費	固定資産の取得価額を取得した年度に一括で経費に計上するのではなく、耐用年数に応じ、1年ずつ分割計上する費用
9. 収支差引額 (純利益)	収益から費用を引いた額

資本的収支の状況（4条予算）

4条予算

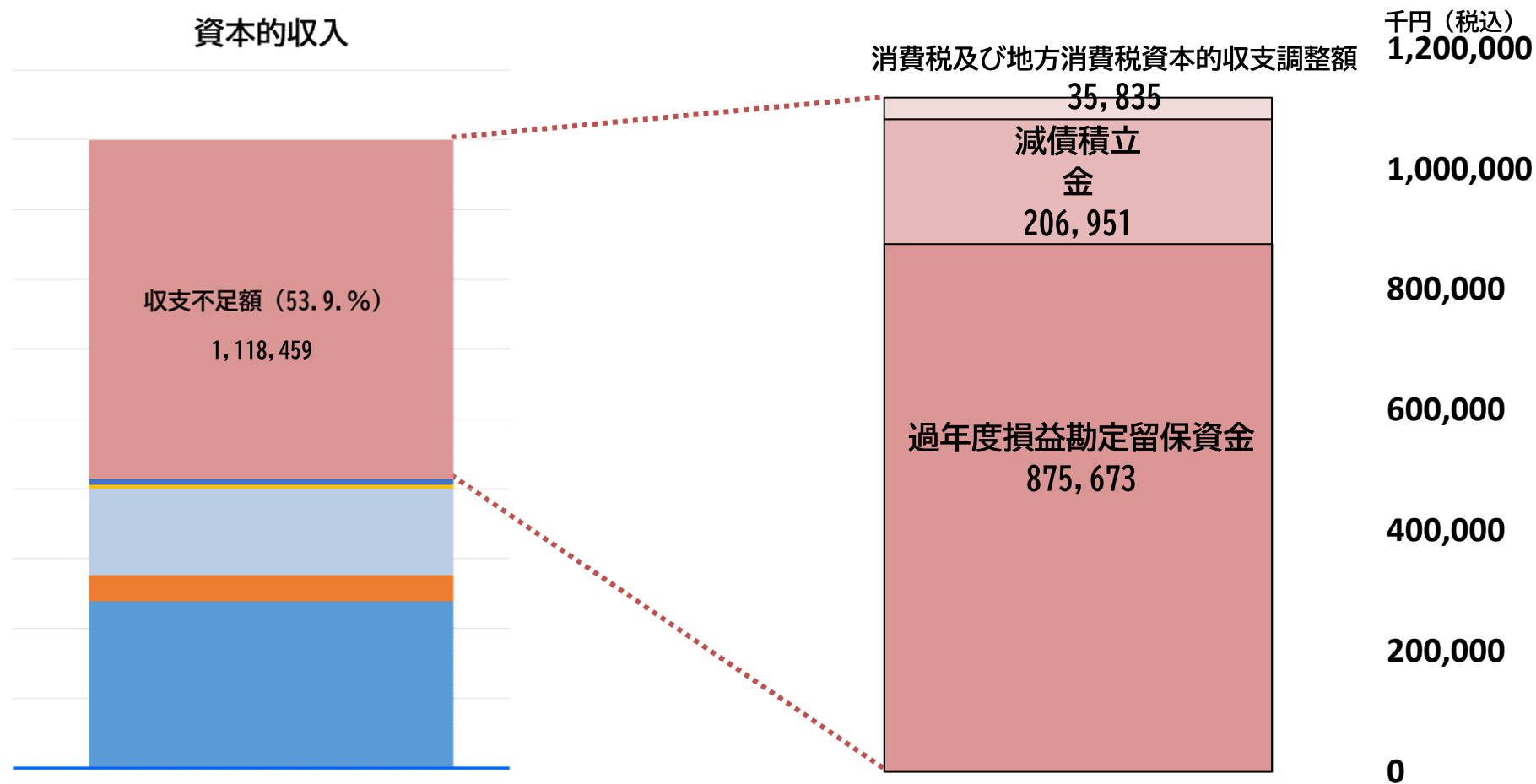
将来の事業活動に備えた、建物や施設の建設改良に係る投資的な支出とその財源



用語解説

1. 企業債借入	建設改良に要する資金を調達するために1会計年度を超えて行う長期的な借入
2. 出資金	地方公営企業法に基づく、一般会計からの出資金
3. 補助金	国または一般会計からの補助金
4. 受益者負担金	下水道が整備されることにより、利益を受ける人が建設費の一部として負担するお金
5. 下水道分担金	市街化調整区域内の汚水や雑排水を公共下水道に接続する利用者から徴収するお金
6. 収支不足額	収入が支出を上回った額
7. 建設改良費	下水道施設、下水道管、ポンプ場・処理場の整備や改築更新に係る費用
8. 企業債償還金	企業債の借入に伴い支払う返済金(元金)

収支不足額への対応(補てん財源)



消費税及び地方消費税資本的収支調整額

公営企業が日々の営業活動で発生する消費税等の最終負担者ではないことを前提に、資本的収支に充当する消費税等相当額を調整する費用

減債積立金

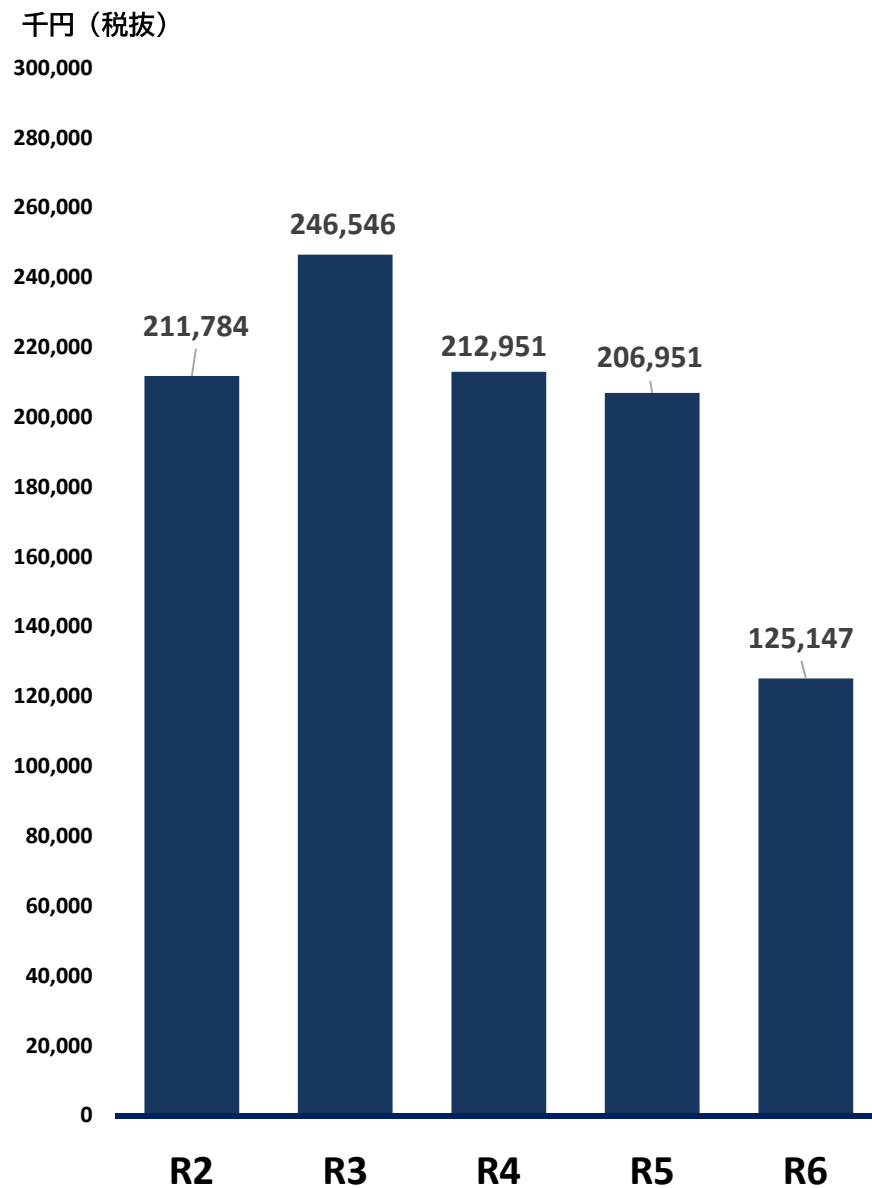
主に公営企業が企業債の元金の返済に備える目的で、利益の一部を積み立てておく純資産の一種

過年度損益勘定留保資金

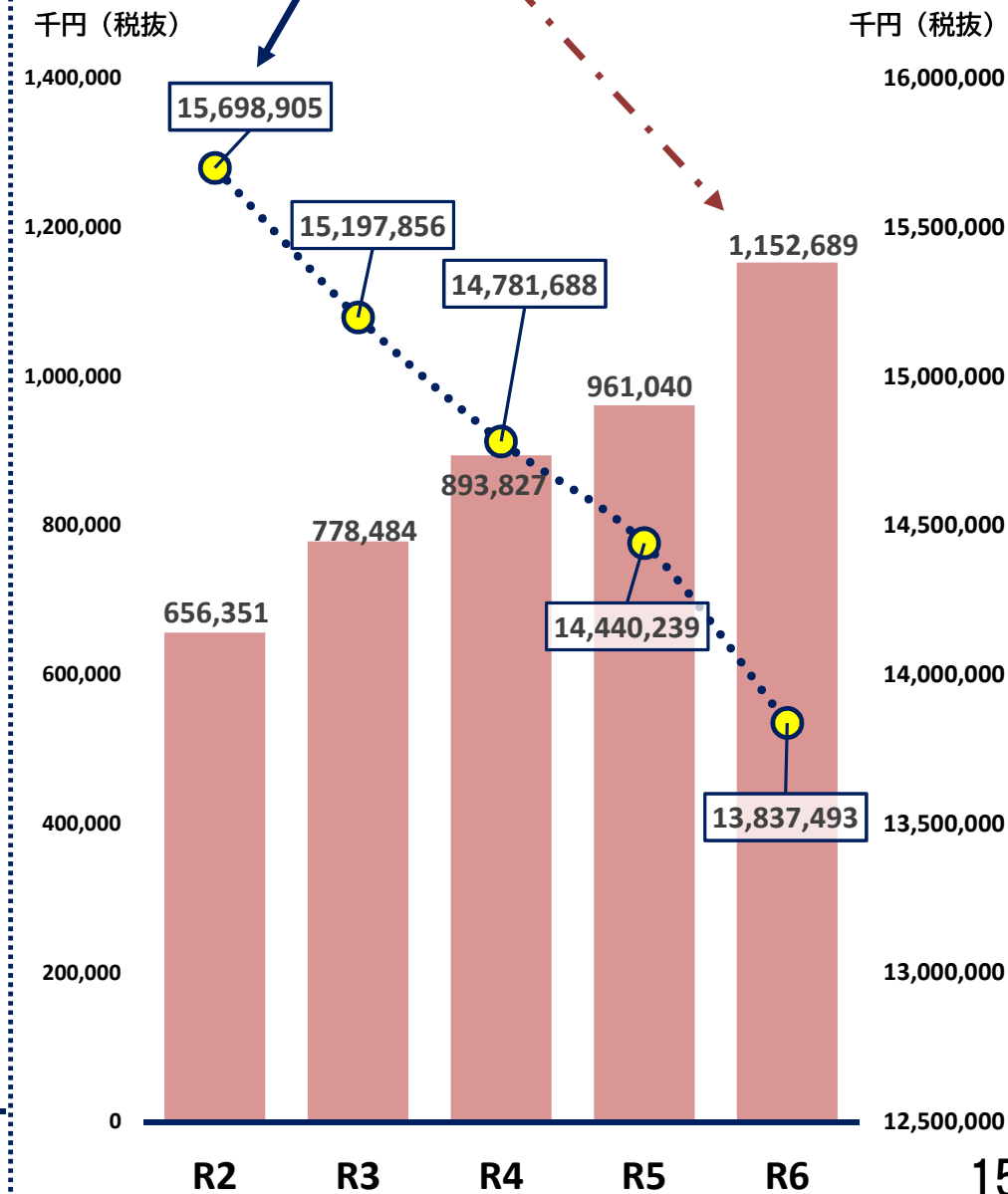
過去の会計年度において発生した、現金支出を伴わない費用(例:減価償却費)と、これに対応する(現金流入を伴わない)収入(例:長期前受金戻入)との差額によって企業内に内部的に留保された、まだ使用されていない資金

指標＞当年度純利益・企業債残高・内部留保資金

当年度純利益の推移（R2～R6）



企業債残高と内部留保資金の推移（R2～R6）



経営指標の分析

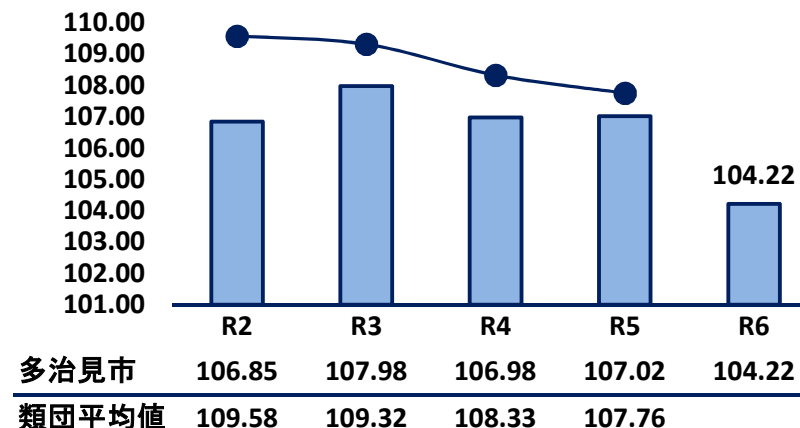
= 経営の健全性・効率性 =

■ 多治見市
● 類団平均値

経常収支比率 「経常損益」

決算数値	多治見市	104.22%
	類団平均値(R5)	107.02%
	全国平均(R5)	107.76%

指標の意味
当該年度において使用料収入や一般会計からの繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表す指標



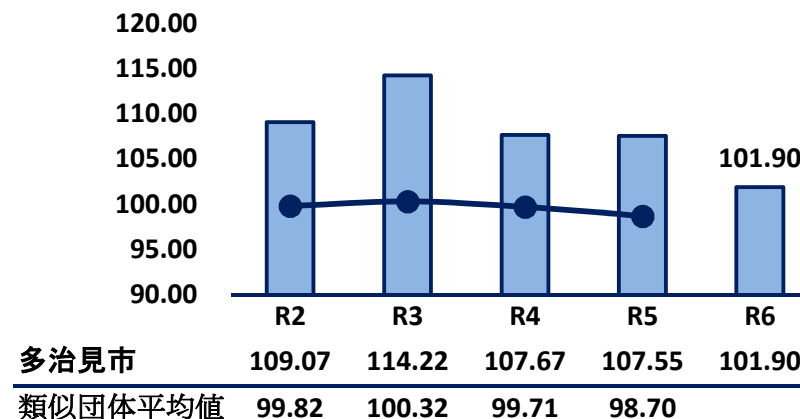
算出式
経常収益／経常費用×100

分析
100%以上を維持できているものの、徐々に下落しています。R6については直近5か年で最も低い値となりました

経費回収率 「料金水準の適切性」

決算数値	多治見市	101.90%
	類団平均値(R5)	98.70%
	全国平均(R5)	97.81%

指標の意味
使用料で回収すべき経費を、どの程度使用料で賄えているかを表す指標



算出式
下水道使用料／汚水処理費(公費負担分を除く)×100

分析
100%以上を維持できているものの、徐々に下落しています。R6については直近5か年で最も低い値となりました

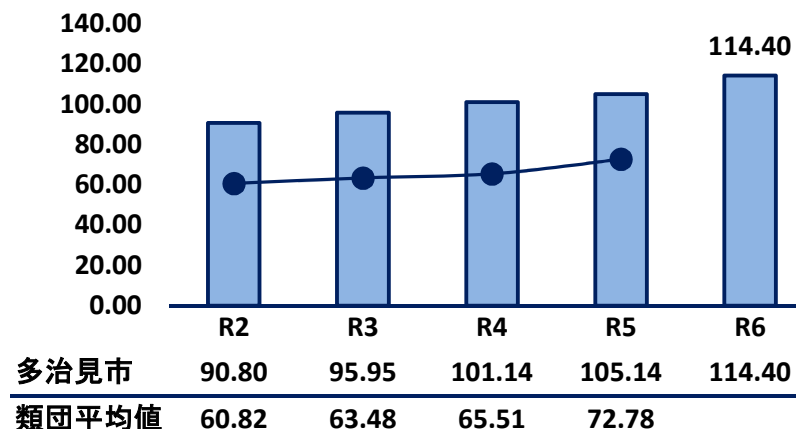
流動比率 「支払能力」

決算数値	多治見市 類団平均値(R5) 全国平均(R5)	114.40% 72.78% 78.43%
------	-------------------------------	-----------------------------

指標の 意味	短期的な債務に対する支払い能力を表す指標。 1年以内に支払うべき債務に対して支払うことができる現金等がある状況かを示す。100%を下回ると不良債務が発生している状態。	
-----------	--	--

算出式 流動資産／流動負債×100

分 析 近年は100%を超えており、短期債務の支払い能力を有しているといえます



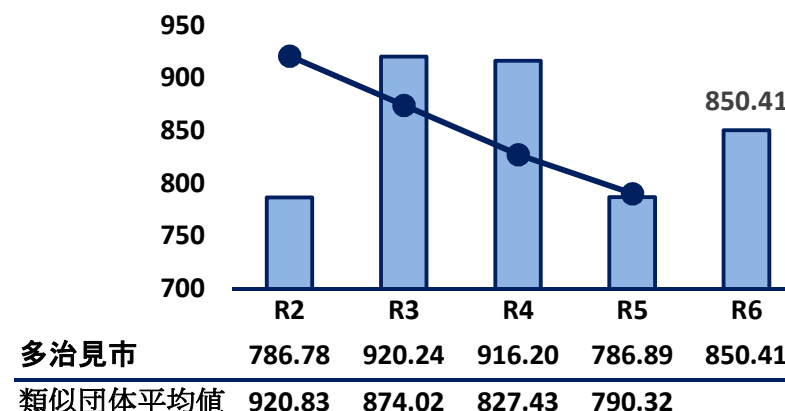
企業債残高対事業規模比率 「債務残高」

決算数値	多治見市 類団平均値(R5) 全国平均(R5)	850.41% 790.32% 630.82%
------	-------------------------------	-------------------------------

指標の 意味	使用料収入に対する企業債残高の割合であり、 企業債残高の規模を表す指標	
-----------	--	--

算出式 (企業債残高合計-一般会計負担額)／(営業収益-受託工事収益-雨水処理負担金)×100

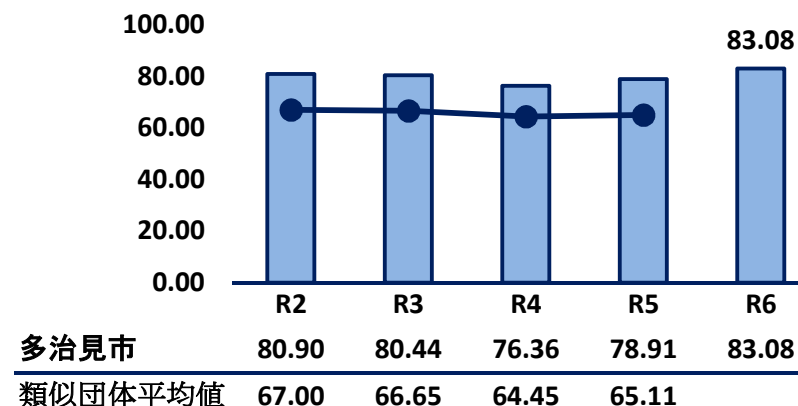
分 析 更新事業費の増大に伴い多額の企業債の借入を行いました(478,700千円)。R5は類似団体平均値と同程度となっていますが、今後も更新需要は増大するため、上昇していくと予想されます



施設利用率 施設の効率性

決算数値	多治見市 類団平均値(R5) 全国平均(R5)	83.08% 65.11% 58.94%
------	-------------------------------	----------------------------

指標の 意味	施設が一日に対応可能な処理能力に対する、一日平均処理水量の割合であり、施設の利用状況や適正規模を判断する指標
-----------	--



算出式 晴天時一日平均処理水量／晴天時現在処理能力×100

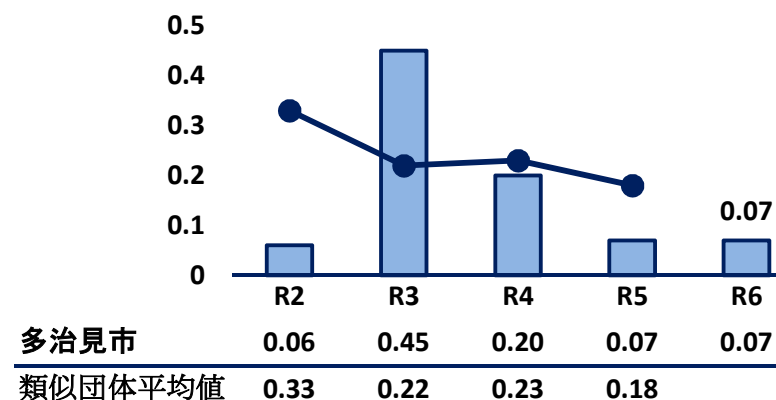
分 析 類似団体平均値を上回っており、適切に施設を利用しているといえます

経営指標の分析 = 老朽化対策の状況 =

管渠改善率 「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

決算数値	多治見市 類団平均値(R5) 全国平均(R5)	0.07% 0.18% 0.22%
------	-------------------------------	-------------------------

指標の 意味	当該年度に更新した管渠延長の割合を表した指標で、管渠の更新ペースや状況を把握する指標
-----------	--



算出式 改善(更新・改良・修繕)管渠延長／下水道布設延長×100

分 析 大口径の管渠の更新が多く、全国平均値、類似団体平均値を下回りました。着実に更新し改善に努めていきます

= 総合評価 =

健全性

△

経常収支比率、経費回収率は100%を上回っているものの、下落傾向です。類似団体平均値と比べ、流動比率は良好ですが、企業債残高対企業規模比率はモニタリングが必要です。

効率性

○

施設利用率は改善しており、良好な状態です。

老朽化対策の状況

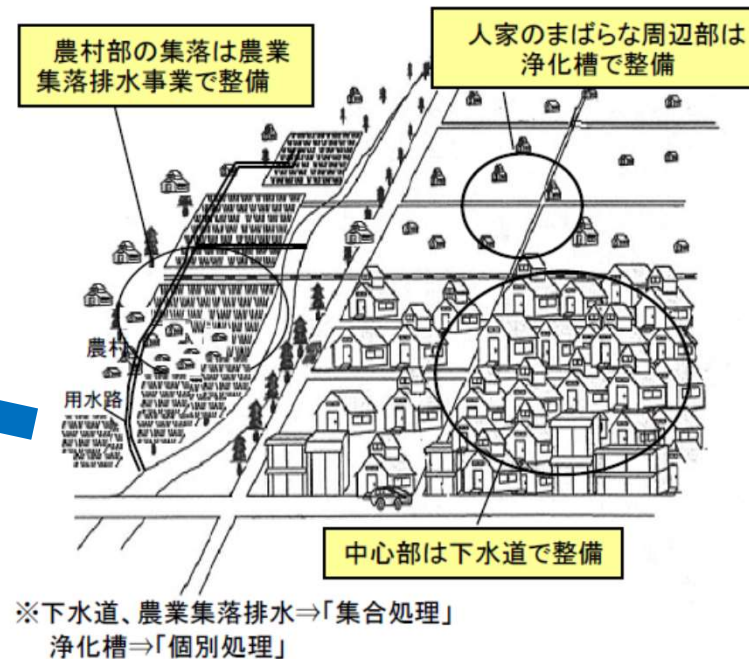
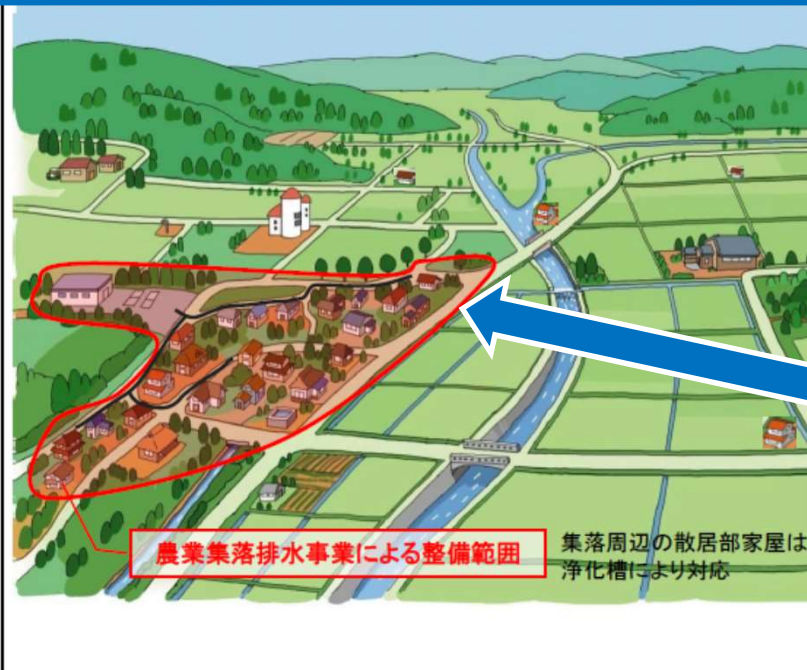
○

管渠更新率は全国平均を下回るものの、前年度と比べて改善がみられます。

令和6年度決算においては、健全な経営状況を維持できた。今後、人口減少等による下水道使用料収入の減少が見込まれる中、施設の老朽化に伴う更新費用の増大などにより経営基盤の強化が必要と考えられます。

令和6年度 多治見市農業集落排水事業の決算状況

農業集落排水事業のイメージと多治見市の事業概要



愛知県境となる市内西部の山間地区である甘原（つづはら）地区を処理区として、平成12年4月1日に供用を開始

農業用排水の水質保全、農業用排水施設の機能維持又は生活環境の改善を図り、併せて公共用水域の水質保全に寄与するために、農業集落におけるし尿、生活雑排水等の汚水処理する目的で、農業集落排水事業を実施

農業集落排水使用料は、使用者が排除した汚水量（水道の使用水量）に応じて料金使用料が算定されており、使用料収納率は例年100%を維持

供用を開始した平成12年度時点の計画人口が240人、令和6年度末時点の水洗化人口は121人となっており、今後、将来の事業継続について検討が必要。

令和6年度決算のポイント

1

収益的収支(税抜)

=約1.1千万円の収益に対し、約1.1千万円の費用

⇒収益が費用を上回り、純利益は**125円**

2

資本的収支(税込)

=約523万円の収入に対し、約833万円の支出

⇒支出額に不足する額は**約310万円**

3

事業規模が極めて小さく減価償却費の占める割合が高いため、経費回収率は**35.0%**とかなり低い

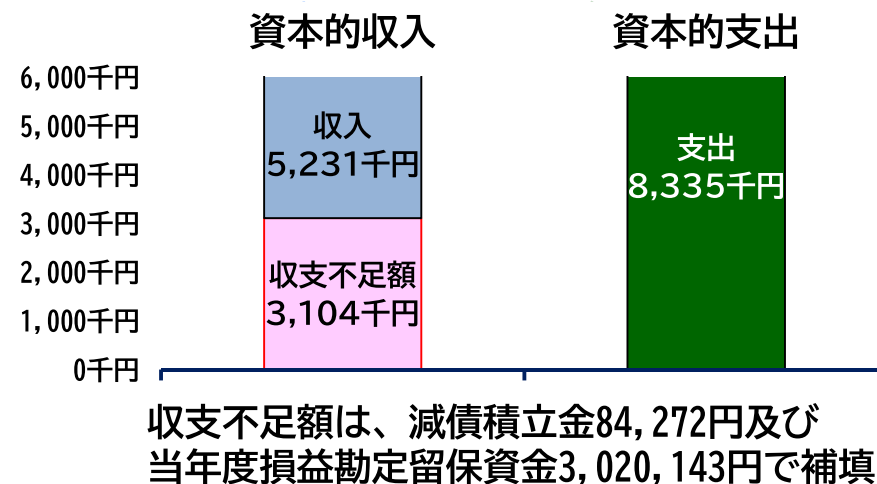
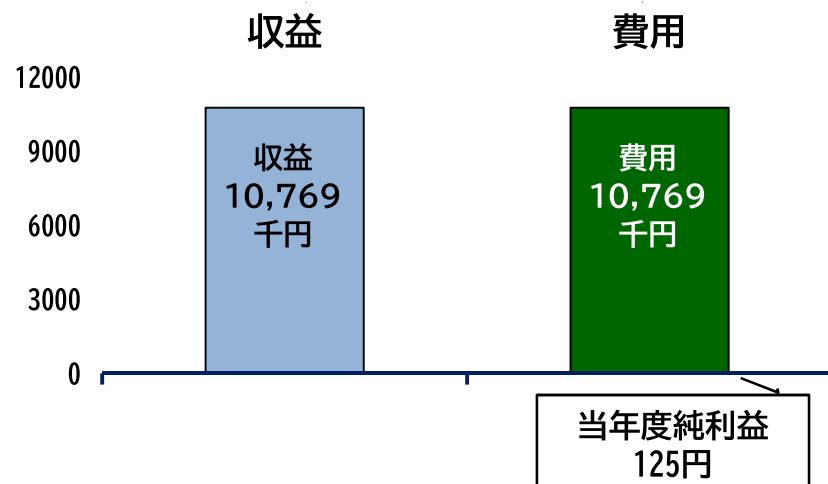
決算概要

収益的収支

資本的収支

収益	費用	当年度純利益
10,769,303円	10,769,178円	125円

収入	支出	収支不足額
5,230,481円	8,334,896円	3,104,415円

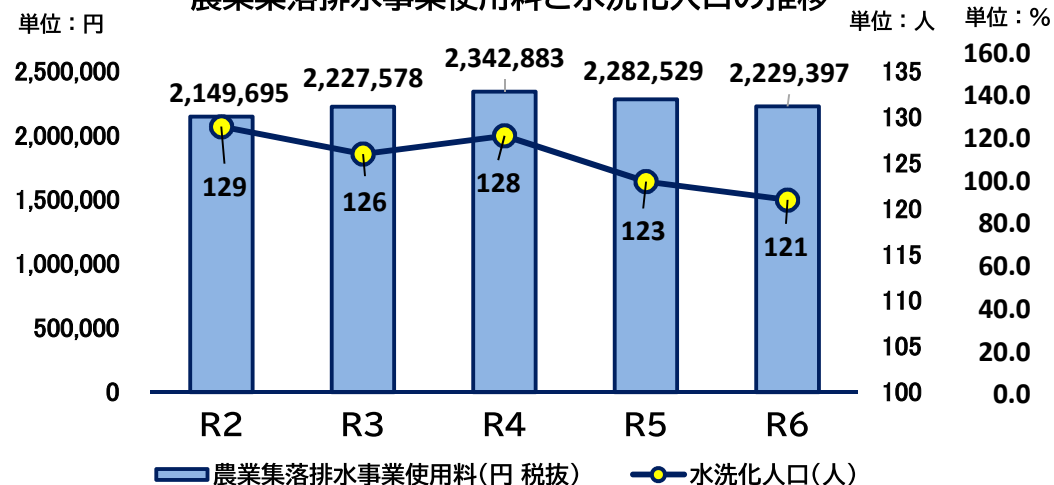


項目	R6	R5	増減	解説
整備区域内 人口	121人	123人	▲2人	污水处理施設が整備されている区域内に居住している人の数
整備区域内 水洗化率	100.0%	100.0%	—	農業集落排水事業の処理区域内で実際に下水道や浄化槽などにつながって生活排水を処理している人の割合
年間汚水 処理水量	15,870m ³	14,068m ³	1,802m ³	農業集落の生活排水（台所、風呂、トイレなど）を、1年間に処理施設で処理した汚水の総量
年間有収水量	11,496m ³	11,796m ³	▲300m ³	処理施設に流入した生活排水のうち、料金徴収の対象となる水量を1年間で合計したもの
有収率	72.44%	83.85%	▲11.41%	処理した汚水のうち、使用料の徴収対象となる有収水量の割合（数値が高いほど不明水が少ない）

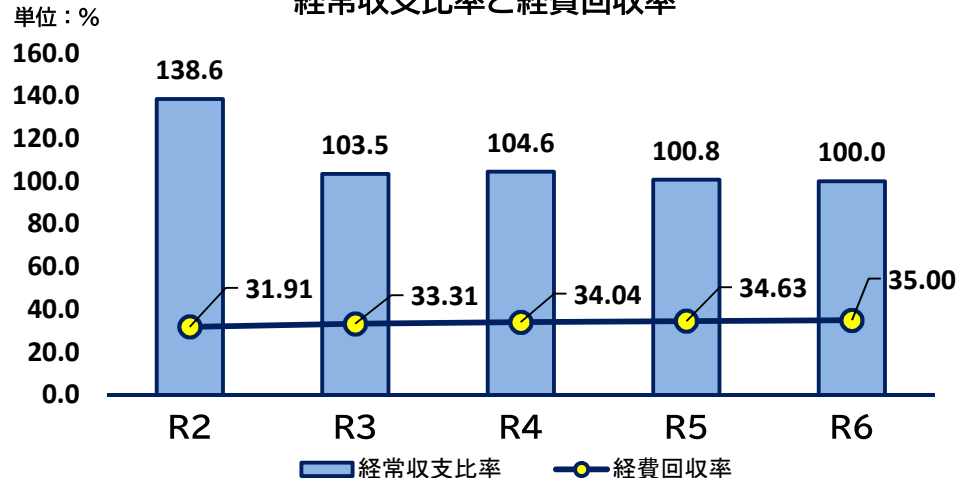
農業集落排水事業の経営状況

多治見市
類団平均値

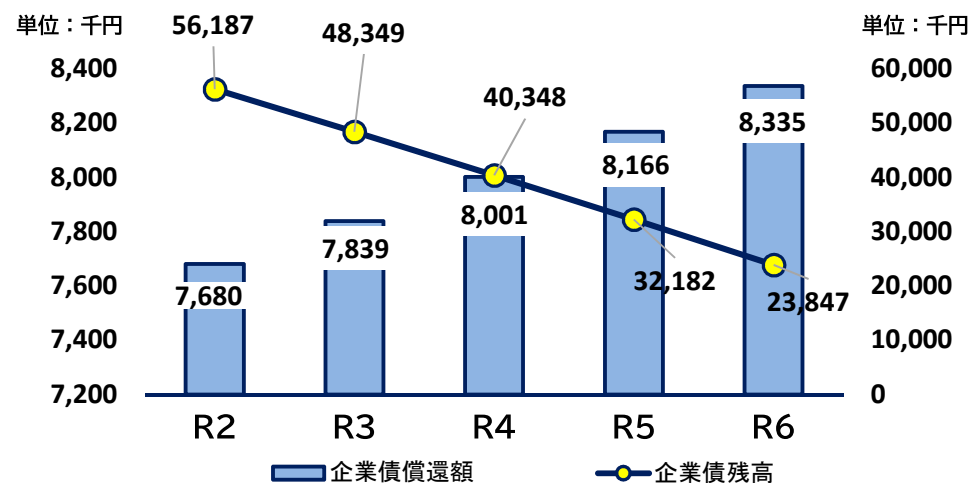
農業集落排水事業使用料と水洗化人口の推移



経常収支比率と経費回収率



企業債償還額・残高の推移



令和12年3月に
企業債の償還が
完了予定

今後について

- 1 農業集落排水事業は著しく小規模で、採算が取れない事業であるため、一般会計からの繰入金により経営を維持しています。
- 2 現在のところ施設は良好な状態であるが、いずれ更新が必要となる時期を迎えることが明らかである。
- 3 更新には多額の費用が必要であるため、施設を更新する前には農業集落排水事業会計の方向性を決める必要があります。